

■ 北 陸 支 部 だ よ り ■

第29回北陸支部定期総会開催

〈定期総会〉

平成23年5月26日(木)午後3時から名鉄トヤマホテルにおいて、会員34名の出席により、第29回北陸支部定期総会が開催されました。

総会は、先ず鹿田支部長の挨拶、(社)日本測量協会 瀬戸島専務理事の挨拶に続き、来賓の富山県知事（代理 加藤土木部建設技術企画課長）及び登坂北陸地方測量部長から祝辞が述べられました。その後、議事に移り、議長に芝田（(社)福井県測量設計業協会副会長）氏を選出し、次の3議案について事務局から説明を行い、議案のとおり全会一致で承認されました。

- ・ 第1号議案 平成22年度事業報告並びに収支報告
 - ・ 第2号議案 平成23年度事業計画並びに収支見込（案）
 - ・ 第3号議案 役員、評議員の改選
- 〔来賓者〕
- ・ 富山県土木部建設技術企画課長 加藤昭悦氏
 - ・ 国土地理院北陸地方測量部長 登坂 昇氏
 - ・ 北陸地方整備局富山河川国道事務所工事品質管理官 林 秀一氏



鹿田支部長



加藤建設技術企画課長



登坂北陸地方測量部長

〈講演会〉

講演会は、(社)日本測量協会瀬戸島政博専務理事から「柴崎測量官が書き残した報告文とその後半生」と題した講演を行いました。

映画「劔岳点の記」が公開されて2年になりますが、瀬戸島専務理事は、これまでに月刊「測量」あるいは測量協会のホームページにも、「劔岳点の記」に関係した解説を数多く掲載し、映画を観る際に大いに参考とさせていただきました。

今回の講演は、柴崎測量官の余り知れていない劔岳測量のその後の半生を、現存しているいろいろな資料をもとに解説いただきました。柴崎測量官の隠れた一面も浮き彫りにされたのではないのでしょうか。

〈懇談会〉

講演会の後、懇談会が開かれ、鹿田支部長のあいさつと、登坂部長の乾杯で始まり、終始和やかな雰囲気ですべて終了することができました。

ご出席の皆さん有難うございました。今年度も北陸支部をよろしくお願いいたします。

○平成22年度事業報告

事業の報告

平成22年度の北陸支部事業については、第28回北陸支部定期総会で議決された事業計画に基づき事業を実施しました。

支部事業の柱である講習会については、東日本大震災により一部中止になった講習会もありましたが、受講者昨年度に比べて37%増加を図ることができました。しかしながら一方で会員の拡大については、機会あるごとに呼びかけを行いましたが、平成17年度から続く減少傾向に歯止めをかけることはできませんでした。

1. 講習会等

◇本部と共催

講 習 会 名	開 催 日	会 場	参加者数
路線測量設計（Ⅰコース）(1)Web講習	22. 4. 13～4. 16	測量会館	5名
基準点測量B課程（水準測量コース）地理空間情報専門技術	22. 5. 31～6. 4	富山市（かんぼの宿）	28名
路線測量設計（Ⅱコース）(2)Web講習	22. 6. 22～6. 23	測量会館	4名
〃（Ⅱコース）(3)Web講習	22. 6. 23～6. 25	測量会館	4名

◇支部主催

講 習 会 名	開 催 日	会 場	参加者数
測量成果電子納品に伴う電子成果の作り方	22. 5. 10	新潟県土地改良会館	31名
	22. 5. 11	ボルファートとやま	35名
GPSによる1,2級基準点測量	22. 6. 15	新潟県土地改良会館	51名
	22. 6. 15	ボルファートとやま	50名
デジタルカメラを使った写真測量のしかた	22. 8. 5～8. 6	金沢工業大学	33名
TSによる3・4級基準点測量	22. 11. 2	新潟県土地改良会館	35名
	22. 11. 3	石川県地場産センター	19名
測量士補答案練習セミナー	22. 3. 17～3. 19	中止	
測量士補答案練習セミナー	22. 3. 22～3. 25		

2. 測量関係図書等の販売

◇図 書

品 名	冊 数
受験テキスト vol. 10	38
科目別模範解答集（H17～21）	33
平成22年国家試験問題模範解説集	18
公共測量 作業規程の準則解説と運用	13
その他	70
合 計	172

◇測量観測手簿用紙

品 名	枚 数
公共51号 縦断・横断測量観測手簿	1210
公共52号 横断測量観測手簿	700
公共21号 三・四等水準測量観測手簿	670
その他	340
合 計	2920

◇登録申請書

品 名	部 数
測量士・士補登録申請書	264

3. 会員サービス

◇基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務

種 類	点 数
成 果 表	345
点 の 記	277
配 点 図	5
合 計	627

◇支部報「測標」の発行

発 行 日	号 数	部 数
22. 4. 15	No.104 (陽春号)	1000
22. 7. 15	No.105 (盛夏号)	1000
22. 10. 15	No.106 (仲秋号)	1000
23. 1. 15	No.107 (新年号)	1000

4. 特別行事等実施状況

行 事 名	実施時期	場 所	実 施 内 容
講 演 会	22. 5. 25	名鉄トヤマホテル	「論語の面白さ」 講師 中村 哲夫氏 聴講者 30名

5. 会員の状況

区 分	H22年3月末	H23年3月末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	472名	463名	△ 9	208名	103名	90名	62名
準 会 員	0名	0名	0	0名	0名	0名	0名
特別会員	183社	179社	△ 4	76社	44社	35社	24社
計	655名社	642名社	△13	284名社	147名社	125名社	86名社

○平成23年度事業計画

事業計画の概要

平成23年度の北陸支部の事業については、日本測量協会が目的としている測量技術の普及発達を図り、会員相互の親和と社会的地位の向上のための活動に取り組んで参ります。

(1) 会員の拡大

各県測協の協力を得て、関係会社の技術者にPRするとともに、講習会受講者及び出版物販売に際し入会の案内に努めます。また、支部報「測標」等を通じて、当協会が行っている事業等をPRし、会員の拡大に努めます。

(2) 講習会

測量技術者が技術の維持向上を図るため、広範な知識及び新技術の習得を内容とした講習会を開催します。このうち今年度は、会員へのサービスを内容とした講習会を計画しました。

なお、受講者の募集に当たっては広くPRに努めます。

(3) 図書等の販売

当協会発行の法規関係図書、測量技術図書、測量士・測量士補登録申請用紙、各種測量簿用紙等の販売を引き続き行い、併せて利用いただくためのPRに努めます。

(4) 会員サービス

会員に対して各種の情報を提供するため支部報「測標」を年4回（4月、7月、10月、1月）発行します。また、メールマガジン「北陸支部通信」により情報の提供を行います。

測量成果謄抄本交付の代行事務及び測量CPD学習履歴登録の申請代行を引き続き行い、会員へのサービス向上に努めます。

平成23年度講習会計画

◇本部と共催

講 習 会 名	開催予定日	会 場
河川測量設計ⅠコースWeb・認定試験	23. 5. 30～6. 3 (5日間)	富山市（測量会館）
河川測量設計ⅡコースWeb・認定試験	23. 6. 27～7. 1 (5日間)	富山市（測量会館）
基準点測量B課程（基準点測量コース）・認定試験	23. 7. 5～7. 13 (9日間)	富山市（いこいの村磯波風）

◇支部主催

講 習 会 名	開催予定日	会 場
測量成果電子納品に伴う電子成果の作り方	23. 4. 26	三条市（燕三条地場産センター）
	23. 4. 27	富山市（ボルファートとやま）
GPSによる1・2級基準点測量	23. 6. 14	長岡市（ハイズ長岡）
	23. 6. 15	富山市（ボルファートとやま）
簡易型技術提案書対策講座	23. 8. 1～8. 2 (2日間)	新潟市 (NSG学生総合プラザSTEP)
ネットワーク型RTK法測量	23. 9. 8	新潟市（新潟県土地改良会館）
	23. 9. 9	富山市（大山地域市民センター）
地理空間情報技術セミナー	23. 10. 13	金沢市（石川県地場産センター）
測量士・測量士補答案練習セミナー	24. 3下旬 (3. 5日間)	三条市予定

第29回定期総会 挨拶

(社)日本測量協会北陸支部長 鹿 田 正 昭

本日は測量協会北陸支部平成23年度総会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございます。また、富山県土木部建設技術企画課長 加藤昭悦様、国土地理院北陸地方測量部長 登坂昇様、国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所 工事品質管理官 林 秀一様にはご多用中のところご臨席を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

また、協会本部からは瀬戸島政博専務理事にご出席をいただきました。ありがとうございます。

まずは御挨拶に先立ちまして、このたびの東日本大震災において犠牲になりました多くの方々のご冥福をお祈り申し上げると共に、今だもって避難所生活を強いられている多数の方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。

今回の大震災はM9.0というこれまでに経験したことの無い大きなエネルギーをもって東北・関東北部地方を襲いました。また、天災による不可抗力とは申せ、原子力発電所の崩壊に伴う放射能汚染は日本のみならず世界を震撼させる災害となっています。

さて、本日は国土地理院北陸地方測量部長の登坂 昇様にもご臨席いただき、後ほど御挨拶をいただくことになっておりますが、地殻変動は国土地理院のホームページによりますと3月11日の本震による最大移動量は水平方向におよそ5.3m、鉛直方向におよそ1.2mとなっており、その後も大きな余震により更に変動が続く、現在も変動が続いていると聞いております。

これにより電子基準点をはじめとする多くの国家基準点が大きな被害を受けています。「地図は国家なり」とは昨年、金沢工業大学で開催した「完全復元伊能図全国巡回フロア展」において元国土地理院長の藤本貴也様のご講演のタイトルですが、まさに復旧・復興のために位置情報は重要なファクターであります。ここにご参集の皆様方を含む多くの方々が何らかの形態で業務として取り組んでおられることとは思いますが、測量・空間情報に携わっておられる皆様方の活躍が今後の復旧・復興に期待されているところだと感じております。

次に、少し明るい方向に話題を変えまして、北陸地方での測量系・空間情報系の新技術に対する取り組みについてご紹介したいと思います。

私の所属しております金沢工業大学には数年前から空間情報プロジェクトというものが立ち上がっておりまして、おもに学生の教育面からいくつかのプロジェクトを実施してまいりました。国土地理院本院や測量協会つくば測量技術センターの見学なども実施いたしました。

一昨年から、産学連携という立場から企業の方々にも声をかけさせていただいて「地上型レーザー計測イノベーション勉強会」を発足させました。最初は7企業10数名の方々にスタートしましたが、現在は33企業で100名近い方々が登録されており、2か月に1回の割合で開催している勉強会もすでに10回を数えるに至りました。この4月からはKIT空間情報プロジェクトとして再スタートしているところであります。

この勉強会に参画されている企業の方から自発的に北陸地方発信の地上型レーザー計測の標準化、いわゆるマニュアルを作りたいとのご意見が出て、勉強会参加企業7社によるマニュアルワーキンググループが発足しました。すでに16回の会議を重ね、室内外における実証実験も開始し、一部については成果の発表をおこないました。つい先日も新たに2社の参画があり、現在は9社となっています。この取り組みには本日の特別講演をお願いしております、協会常務理事の瀬戸島政博専務理事を始めとする協会測量技術センターの方々にもご教示をいただいているところです。

また、昨年は9月11日に日本版GPSであるみちびきが打ち上げられ、実証実験段階に入っております。衛星測位利用推進センター（SPAC）が公募した実証実験には北陸地区から7企業1団体が参画されています。ただ、東日本大震災の影響で現在は中断している状況は少し残念ではあ

りますが、このような先進的な技術の分野に、北陸地方から多数の企業が参画していただいていることは大変喜ばしいことであり、今後も積極的に活動していただきたいことを願っております。

さて、本日の特別講演はさきほどもご紹介いたしましたの瀬戸島政博専務理事から一昨年大ヒットした「剣岳 点の記」の地元に関連して「柴崎測量官が書き残した報告文とその後半生」と題して、興味あるお話をしていただけるものと伺っております。瀬戸島専務理事は協会機関紙「測量」に「図版でみる江戸時代の測量術」を連載されるなど測量の歴史に大変お詳しいと共に、ご趣味の世界では日本各地の城を巡られており、城址に関しても極めて博識であります。本日のご講演は「柴崎測量官が書き残した報告文とその後半生」ですが、懇親会の席においては歓談の中でご趣味の話題も取り上げていただければと思っている次第です。

最後に、本日の総会が有意義なものとなりますよう、提出議案につきましてご審議いただきたいと思っております。また、今後とも日本測量協会北陸支部の活動にご関心をいただき、ご支援をお願いいたします。また、今後とも日本測量協会北陸支部の活動にご関心をいただき、ご支援をお願いいたします。

本日はご出席ありがとうございました。

金沢工業大学環境・建築学部
環境土木工学科 教授

第29回定期総会 祝辞

国土地理院北陸地方測量部長 登 坂 昇

〈はじめに〉

日本測量協会北陸支部第29回総会の開催を、心よりお慶び申し上げます。

北陸支部並びに会員の皆様方には、常日頃から何かにつけ国土地理院の業務に多大なご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

〈災害対応と復旧・復興に向けて〉

さて、3月11日に、マグニチュード9という日本観測史上最大の地震が発生しました。そして、大津波・火災・原子力発電事故による複合的な災害により、甚大な被害となっています。また、北陸地方でも翌日大きな地震がありました。この、「東日本大震災」（東北地方太平洋沖地震）、「長野県・新潟県県境付近の地震」（長野県北部地震）により被災された皆様に対し、心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

また、今回の大震災では、官民を問わず、昼夜を舍（お）かず、懸命に奮闘している多くの皆様に対し、心から敬意を表すものです。

国土地理院においては、災害の復旧・復興に向けて、測量行政機関としての業務を補正予算により実施して参ります。どうぞ皆様、ご協力の程よろしくお願いいたします。

防災・災害対応の観点から、当部としまして、平常時から管内及びその周辺の地殻変動などの情報を収集し、また、県、地方整備局等の関係機関との連携強化に努めたいと考えています。

〈北陸地方の産学官連携〉

平成21年に発足した地理空間情報の活用・推進に関する北陸地方産学官連絡会議ですが、今年度は、第1回（第2四半期）、第2回（第4四半期）、分科会（第3四半期）の予定で実施したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。また、地理空間情報の活用・推進に関する各県別担当者会議も、基盤地図情報の特に更新と言う観点から、連携する目的で実施したいと考えております。

日本測量協会北陸支部長の鹿田先生には、「産学官連絡会議」の座長になっていただいたことをはじめ、大きなお力添えをいただいております。どうぞ、今後もよろしくお願いいたします。

〈公共測量〉

平成23年度に実施される貴協会主催の各種講習会等では、貴重な時間をいただき、北陸地方測量部職員から、公共測量作業規程準則の一部改正の内容説明、また、作成された公共測量成果は基盤地図情報更新のための原データとして利用するため、公共測量の法令遵守についての啓発活動を、特段の御配慮をいただき実施させていただいております。ありがとうございます。

〈とやま地図作品研究会〉

第2回とやま地図作品研究会総会が、5月19日に開催されました。「とやまみんなの地図作品展」を継続・発展していく意義を理解して参加していただいている皆様、今後も、地図作品展を児童生徒たちの地図に関する学習成果を発表する貴重な場とするとともに、地域に定着させ、更に発展させた取り組みを皆さんと共にやっていきたいと思っておりますので、どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

〈おわりに〉

以上、主に、連携・防災に関連する取り組みについて報告させていただきました。何れにしましても、地理空間情報高度活用社会を展望したとき、日本測量協会の役割は、ますます重要となっていくことは間違いありません。

最後になりましたが、ご列席の皆様方のご健康とご活躍を祈念いたしますとともに、日本測量協会北陸支部のますますのご発展を祈念し、祝辞とさせていただきます。

平成23年度 役 員 名 簿

支 部 長	鹿 田 正 昭	金 沢 工 業 大 学 教 授
副支部長	古 川 征 夫	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 会 長
〃	楠 則 夫	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 会 長
〃	北 原 良 彦	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 会 長
〃	若 林 喜久男	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 会 長
幹 事 長	山 本 英 一	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
副幹事長	鳥 越 光 雄	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 専務理事
幹 事	飯 塚 正 俊	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	新 保 仁	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	桑 原 清 一	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	館 下 義 秋	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 元 会 長
〃	大 代 武 夫	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	井 上 大 世	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 前副会長
〃	新 家 久 司	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	黒 木 輝 久	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	芝 田 清 邦	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 副 会 長
〃	山 田 正 明	(社) 日 本 測 量 協 会 北 陸 支 所 支 所 長
監 事	吉 澤 隆	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	中 西 誠一郎	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 専務理事

平成23年度 評 議 員 名 簿

評 議 員	卜 部 泰	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	山 本 眞	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	山 岸 陽 一	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	佐 藤 巧	(社) 新 潟 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	鷺 北 慎 一	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	立 野 正 治	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	寺 島 郁 子	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	高 島 正 紀	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	佐 野 伸 吾	(社) 富 山 県 測 量 設 計 業 協 会 監 事
〃	石 川 通	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	原 章	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	小 畑 正 昭	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	大久保 伸 一	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	磯 野 秀 和	(社) 石 川 県 測 量 設 計 業 協 会 理 事
〃	五 井 輝 之	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 常任理事
〃	高 岡 昌 和	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 常任理事
〃	毛 利 茂 則	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 常任理事
〃	野 坂 康 雄	(社) 福 井 県 測 量 設 計 業 協 会 常任理事
〃	中 嶋 一 雄	元 北 陸 工 業 専 門 学 校 元副校長
〃	中 藪 睦	富 山 県 立 南 砺 総 合 高 等 学 校 福 野 高 校 教 諭
〃	見 越 秀 和	福 井 県 立 若 狭 東 高 校 教 諭
〃	北 川 正 幸	福 井 県 立 大 野 東 高 校 教 諭

◆支部定期監査の実施

平成23年4月19日(火)11時30分から測量会館において、吉澤及び中西両監事により、平成22年度経理書類等について監査を実施しました。

監査結果は、適正に処理されているとの講評がありました。

◆支部役員会を開催

平成23年5月11日(水)14時から「ボルファートとやま」において、北陸支部役員会を開催しました。この役員会では、鹿田支部長他15名の役員が出席し、5月26日に開催される支部定期総会に諮る議案について、審議いたしました。その他、講演会、懇談会等について事務局から説明しました。

◆第2回「とやま地図作品研究会」総会開催

平成23年5月19日(木)に測量会館において第2回「とやま地図作品研究会」の総会が、会員13名の出席により開催されました。

総会では、平成22年度事業実施報告及び決算報告、平成23年度実施計画及び予算案について、全会一致で承認されました。

また、平成23年度役員についても次のとおり承認されました。

○平成23年度事業の概要

1. 作品募集 平成23年9月1日～9月30日
2. 「とやまみんなの地図作品展」
・開催時期：11月下旬 ・会場：フューチャーシティー「ファボーレ」予定
3. 審査 1次審査を行いその中から、2次審査に上げる作品を選出
4. 全国児童生徒地図優秀作品展へ出展する
5. 地図作品の作り方教室の開催
夏休み前に希望者を集めて、作成のポイント等をアドバイス
6. 応募学校及び応募数の拡大
7. 会員の拡大 学校の先生等へPRに努める

平成23年度 とやま地図作品研究会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属 先
会 長	大 西 宏 治	富山大学人文学部 准教授
幹 事 長	名 取 三喜男	日本測量協会北陸支部 事務局長
幹 事	中 野 修	国土地理院北陸地方測量部 測量課長
同	伊 藤 純 一	国土地理院北陸地方測量部 専門職
同	山 本 英 一	富山県測量設計業協会 副会長
同	高 島 正 紀	富山県測量設計業協会 理事
監 査 役	赤羽根 正 夫	国土地理院北陸地方測量部 管理課長

(問合せ) 「とやま地図作品研究会」 事務局 (社団法人日本測量協会北陸支部)

〒939-8094 富山市大泉本町1-12-14 測量会館

TEL 076-422-3305 FAX 076-422-3403

E-Mail: natori@jsurvey.jp

◆講習会を開催

◇「測量成果電子納品に伴う電子成果の作り方」講習会

平成23年4月26日(火)に三条市（燕三条地場産センター）、27日(水)に富山市（ボルファートとやま）において、「測量成果電子納品に伴う電子成果の作り方」講習会を新潟会場21名、富山会場15名の参加者で開催しました。今年も福井コンピュータ株式会社のご協力により同社の土木測量プロモーション部CALS/ECエキスパートの松本尚之氏を講師として講習会を実施しました。

また、講習会のあと、国土地理院北陸地方測量部から中野測量課長（三条会場）及び阿部調査係長（富山会場）が「公共測量の法令遵守と最近の動向について」と題して、公共測量作業規程の準則の一部改正の説明と公共測量の法令を遵守し、信頼確保に努めていただきたい旨の説明が行われました。



三条会場



富山会場

◇「GNSSによる1・2級基準点測量」技術講習会

6月14日(火)に長岡市（ハイブ長岡）及び15日(水)に富山市（ボルファートとやま）で測量技術センター北陸支所の山田正明所長の講師による「GPSによる1・2級基準点測量」技術講習会を開催しました。参加者は長岡会場35名、富山会場19名でありました。

測量技術者のみなさんが実作業に役立つ講習会ということでは、3月末に一部改正された作業規程の準則は各種の衛星測位システムへの対応を可能としたり、ネットワーク型RTK法の適用範囲が拡大されたこと等の改正の説明も盛り込まれた内容となりました。



長岡会場



富山会場

また、今講習会を利用して国土地理院北陸地方測量部の伊藤専門職（長岡会場）、阿部調査係長（富山会場）から「公共測量の法令遵守と東北太平洋沖地震に伴う公共測量等への影響について」と題して説明が行われました。

◆富山県内小学校へ「測量の目で見わたしたちの富山県」配る

北陸支部では「測量の日」関連行事として、今年も測量の日に合わせて「測量の目で見わたしたちの富山県」という手作りパンフレットを、富山県内の小学校25校を抽出し、6年生を対象に1,040人配布しました。

このパンフレットには「測量の日」の意義や重要性の説明のほか、富山県内の一等三角点、一等水準点、電子基準点が設置されている場所とその役割や、富山県の重心（へそ）、面積、平均標高、最高峰、東西南北の端点等が掲載してあります。また、経緯度の説明や富山県が生んだ測量家「石黒信由」についても掲載して、子供たちに地理への関心を持たせる内容になっています。

この行事も今年で8年目になり、延べ144校に及び、配布した児童数は10000名分を超える数になりました。

◆講習会の開催案内

◇「簡易型技術提案書対策講座」 一提案書作成のポイントー CPDポイント10

- ☐ 日 時 平成23年8月1日(月)13:00～2日(火)15:30
- ☐ 場 所 「NSG学生総合プラザSTEP」3F研修室B
- ☐ 講 師 瀬戸島政博（社団法人日本測量協会専務理事）
住田英二（サーベアカデミー講師）
- ☐ 募集人員 20名（但し、定員になり次第締め切ります）
- ☐ 受講料 ①会員：21,000円 ②一般：28,000円
③同時入会：28,000円（年会費7,000円含む）
- ☐ 申込期限 平成23年7月20日(水)
- ☐ 申込先 (社)日本測量協会 北陸支部 TEL076-422-3305・FAX076-422-3403
詳細は、月刊「測量」又は測量協会ホームページをご覧ください。
<http://www.jsurvey.jp/k-hokuriku230801-02.pdf>

◇「ネットワーク型RTK法測量」講習会 CPDポイント6

- ☐ 日時・会場 ・平成23年9月8日(木)9:30～16:30
新潟県土地改良会館（新潟市中央区川岸町1-38-3）
・平成23年9月9日(金)9:30～16:30
富山市大山地域市民センター（富山市上滝525）
- ☐ 講 師 (社)日本測量協会 基準点測量専門職員、実習協力(株)ソキア販売
- ☐ 受講料 ①会員：9,000円 ②一般：16,000円
③同時入会16,000円（年会費7,000円含む）
- ☐ 定 員 各会場40名
- ☐ 申込期限 平成23年8月26日(金)
- ☐ 申込先 (社)日本測量協会 北陸支部 TEL076-422-3305・FAX076-422-3403
詳細は、月刊「測量」又は測量協会ホームページをご覧ください。
<http://www.jsurvey.jp/k-hokuriku230908-09.pdf>

◆ 支部からのお知らせ

◇測量CPD学習履歴登録申請を代行しています

北陸支部では会員サービスとして、測量CPD学習履歴台帳登録をされている正会員に限り、北陸支部で開催する講習会受講者の学習履歴登録申請の代行を行っています。

登録申請の代行を希望する方は、支部から講習会の受講票を送付する際に、同意書を同封しますので、記名押印のうえ講習会当日に提出してください。当日忘れた場合でも、郵送又はFAXやメール等でお送りいただければ手続きを行います。

登録の確認は、測量CPD協議会のホームページ上で行うことができます。

正会員で、まだ測量CPDに台帳登録されていない方は是非ご登録いただき、また、測量CPD台帳登録されていても正会員でない方は、是非この機会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

正会員に入会されると測量CPD登録料は、学習履歴証明書の発行代金を除いてすべて無料となります。また、月刊「測量」が毎月無料で送付されますので、それを購読されるとCPDポイントが付きます。他にもたくさんの特典がありますので是非ご入会ください。

詳しくは、北陸支部までお問い合わせください。

※法人で入会している特別会員は、このサービスの対象となりません。

◇メールアドレスの登録を

(社)日本測量協会では、ホームページや月刊『測量』等を通じて、会員の皆様へ測量に関する情報提供しておりますが、「メールマガジン」による会員向けサービスも行っております。

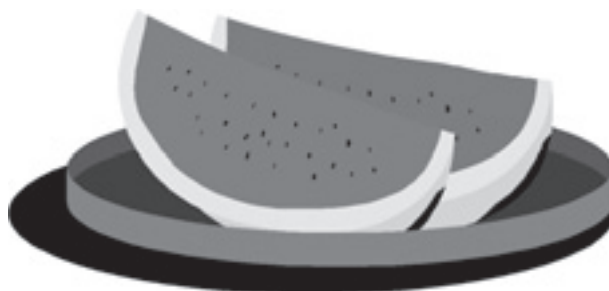
配信は、測量協会本部からのメールマガジンと北陸支部から「北陸支部通信」によるメールマガジンを配信しております。未だ登録されていない会員の皆様は是非ご登録いただきますようお願いいたします。

配信は、本部からは、原則毎月1回、月の上旬に行っており、サーベイアカデミー案内、講習会案内、イベント情報、新刊図書案内等々の耳寄り情報を盛り沢山の内容で配信し、みなさんに活用いただいております。支部からは、必要に応じて講習会の案内、国土地理院情報その他、北陸地方の関連情報等を配信しております。

【問合せ先】 社団法人 日本測量協会 会員業務センター

担当 清水 TEL 03 - 5684 - 3352 E-Mail : kaiin@jsurvey.jp

又は、北陸支部 TEL 076 - 422 - 3305 E-Mail : hokuriku@jsurvey.jp



暑中お見舞い
申し上げます

■測量関係法令集 平成23年版 ISBN 978-4-88941-051-8 A5判 定 価 3,900円 会員価格 3,510円 送 料 550円 平成23年5月16日刊行	測量法、測量法施行令・測量法施行規則、測量法関係告示等、地理空間情報活用推進基本法、公共測量作業規程の準則、国土調査法、土地区画整理法、その他関係法令を収録。
■一公共測量一作業規程の準則 ISBN 978-4-88941-026-6 A4判 定 価 4,000円 会員価格 3,600円 送 料 550円 平成23年4月23日刊行	(平成23年3月31日改正版) 各種公共測量の規範となる規定集 総則／基準点・地形・写真・応用測量等
■設計業務等標準積算基準書 測量業務等積算資料 平成23年度版 A4判 定 価 2,800円 会員価格 2,520円 送 料 440円 平成23年7月6日刊行	設計業務等標準積算基準書は、測量業務積算基準、地質調査積算基準及び設計業務等積算基準の一部について掲載。 測量業務等積算資料は、国土地理院において外注により実施している各種業務に使用する積算基準及び標準歩掛の一般基準
■デジタル写真測量の基礎 ～デジタルで三次元測定をするには～ ISBN 978-4-8894-050-1 津留 宏介、村井 俊治著 B5判 107頁 定 価 2,200円 会員価格 1,980円 送 料 390円 平成23年2月25日刊行	本書は、デジタル写真測量の基礎を分かりやすく解説。 身近にあるデジカメで三次元計測ができることを知っている人は意外に多くない。しかし、それには写真の幾何学的特徴や写真測量の原理についての基礎が必要となる。 本書は、分かりやすいデジタル写真測量のテキストとして、これからデジカメで写真測量をしたいという読者を対象に、平易に書かれている。

※今後の刊行予定図書

○公共測量 作業規程の準則 解説と運用	平成23年10月末頃予定
○公共測量 作業規程の準則 記載要領	平成23年10月末頃予定
○改定版 用地測量（作業規程の準則 準拠）	平成23年10月末頃予定
○23年国家試験問題模範解説集	平成23年10月末～11月頃予定
○国家試験科目別模範解答集（18年～22年）	平成23年10月末～11月頃予定
○受験テキスト vol.12	平成23年10月末～11月頃予定